

受け渡しの遅延について 続報

エジプト中央銀行は海外投資家への送金制限に関して16日、保管銀行を通して50%の支払いを行い、残りも近日中に実施する予定であると発表した。大手の機関投資家と中央銀行は同件に関して継続的な話し合いを行っている。

－3月4日 弊社コメント

HSBC(当ファンドの保管銀行)によると、エジプト国内で発生していた海外送金の滞りに関して、当初2ヶ月以内(3月中旬頃)に送金可能になるとの連絡がありました。未だその2ヶ月が経過してませんのでその時点で送金が本邦に行われるかどうかについて確認が取れてはおりません。コンコード東京支店としては在日エジプト大使館を通じて2度に亘りこの突然の送金制限について中央銀行へ詳細を問い合わせしております。更に此の送金制限については、エジプトの為替管理についての法令変更があったということについては現地HSBC及び大使館からも確認されておりません。今後も弊社の本社を經由して正しい情報の詳細を入手すべく努力しております。

－1月29日 デイリーニュースより抜粋

事務管理会社 Capita Asset Services によると、エジプト国内でのドルの流動性低下を受けて、中央銀行による一時的な介入により一部で受け渡しの遅延が発生している模様だが、その原因が3年前の革命時のような政治的混乱によるものではない事から長期化するとの見方は今のところなく時限的である。ちなみに、5年物CDSは革命時は800%近くまで上昇したものの、現在は400%台へ低下、金利は安定的に低下している。また、株式市場も昨日今年最高値を更新(年初来騰落率: 8.63%上昇、昨年は25%上昇)、出来高も革命後(過去3年間)で最高を記録した。今回のドル流動性低下は、テクニカルな要因が強いとみられており短期間に終焉する可能性が高いと考えられる。

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にMENA市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、勧誘、販売を目的としたものではありません。■当資料は本来の受信者の社内用途のためだけに提供されています。本資料のいかなる部分も、弊社の事前の書面による同意を得ることなく、その内容の全部または一部を許可なく使用、発信、配布または複製することを固く禁じます。